

事務事業マネジメントシート(平成27年度実績と平成28年度計画)

平成28年 7月29日 更新

事務事業名		図書館電算管理システム維持管理事業					☐ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連					
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり					所属部	教育委員会	課長名	岐部 則夫	
	施策	21	生涯学習の推進					所属課	生涯学習課	担当者名	森田 由貴恵	
	施策の柱	69	生涯学習施設(環境)の整備					所属班	図書館班	(内線)	2532	
予算科目		会計一般	款10	項5	目8	事業連番11164	根拠法令	成果優先度評価結果 : ⑫ コスト削減優先度評価結果 : ⑥				
終了、開始年度		☐ 27年度で終了 ☐ 27年度から開始					事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 18 年度) ☐ 期間限定複数年度 (~ 年度)				

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	図書館電算システムの維持・管理、利用者向けインターネット端末の維持・管理・現在の図書館運営は電算システムは欠かせないものであり、開館時より運用している。合併に伴い、両町のシステムを統合した。インターネットの普及により、蔵書の検索がホームページより行えるようなシステムを構築した。新システムでは蔵書の情報をインターネットに公開し、利用者に情報を公開している。合併時に導入した図書館システムの更新を平成25年3月に行い、サーバー方式からクラウド方式へ変更した。
【業務の流れ】	トラブル時の対応、機器故障時の修繕、プリンタトナー等消耗品手配、各種統計作業
【主な予算費目】	委託料、使用料及び賃借料
【意見や要望】	図書館からの予約メール受け取りやWEB予約など、お客様のご家庭でのインターネット環境や設定原因で利用できない状況があるが、図書館では対処できない問題なのでそれらの問い合わせや対応に苦慮している。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分
① 手段(主な活動) 27年度実績(27年度に行った主な活動) (DO)		28年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN)
図書館システムの維持管理・利用者向けインターネット端末の維持管理を委託し、システムの安定稼働につとめた。25年3月にシステムの更新を行った。		システムの安定稼働のための保守を行う。
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由
→ ア 登録者数	人	増減なし
→ イ 蔵書数	点	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)	(単位)
図書館システム	→ ア システムの稼働時間	時間
	→ イ	
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)	(単位)
円滑な図書館運営を行うシステムの安定稼働を図る	→ ア トラブルの件数	件
	→ イ システムの停止時間	時間
* ③ 成果指標設定の理由と28年度目標値設定の根拠		総トータルコスト
維持管理の事業のためトラブル件数等の指標とした。経年により若干増えたと予想した。		全体計画
		～ 年度
		0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	25年度実績(決算)	26年度実績(決算)	27年度目標(当初予算)	27年度実績(決算)	28年度目標(当初予算)	29年度予定	30年度見込	31年度見込
投 入 費 用	事業費	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
	人件費	一般財源	千円	7,539	7,626	7,628	7,626	7,629	7,628	
		(A) 事業費計	千円	7,539	7,626	7,628	7,626	7,629	7,628	0
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0
		正職員従事人数	人	5	4	1	3	1	1	0
人 件 費	延べ業務時間	時間	480	335	384	400	384	384		0
		(B) 人件費計	千円	1,912	1,334	1,529	1,485	1,529		0
	トータルコスト(A)+(B)		千円	9,451	8,960	9,157	9,111	9,158	9,157	0

事務事業名	図書館電算管理システム維持管理事業	所属部	教育委員会	所属課	生涯学習課
-------	-------------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部（CHECK）

*原則は27年度の事後評価、ただし複数年度事業は27年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①27年度目標達成度評価	☒ 達成した 平成25年3月に図書館電算システムを更新し、大きなトラブルもなく稼働している。機器の小さな故障は多少なりともある。
	②28年度目標達成見込み	☒ 目標達成見込みあり⇒【理由】 S Eと図書館職員との定例会を月に1回行うなど連携体制をとり、不具合やシステムの修正等も早めに対応してもらうことでトラブルがないようにする。
有効性評価	③成果の向上余地	☐ 向上余地がある⇒【理由】 現状の達成状態を維持するための事業であり、向上余地はない。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができる⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない⇒【理由】 図書館独自のシステムのため統合等ができない。なお、施設間の通信回線については図書館独自の回線を利用し、学校分だけを情報広報班敷設回線を利用している。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	☐ 削減余地がある⇒【理由】 サービスを維持するための必要最小限の経費である。
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地	☐ 削減余地がある⇒【理由】 現在委託で行っており、人件費の削減余地は限られる。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある⇒【理由】 サービスを維持するための経費であり公平である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	☐ 見直し余地がある⇒【理由】 現在図書館に設置しており適正である。

3 評価結果の総括（CHECK）

小さな故障については、すぐに対応し安定稼働に努めている。システムについても、定例会等で積極的に要望し、改善を求めている。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（ACTION）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可 ☐廃止 ☐休止 ☐目的再設定 ☐事業統廃合・連携 ☐事業のやり方改善（有効性改善） ☐事業のやり方改善（効率性改善） ☐事業のやり方改善（公平性改善） ☒現状維持（従来通りで特に改革改善をしない） 学校図書館システムと公共図書館システムの切り離しを検討する。		(2) 改革・改善による期待成果 （廃止・休止の場合は記入不要） <table><tr><th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><td rowspan="3">成果</td><td>向上</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>維持</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>低下</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策																								